

関 勉氏に太平洋天文学会より コメット・メダル

▼ 日本天文学会および東亜天文学会協同の伝達式においてコメット・メダルを受ける関勉氏（右側）。1970年8月23日京都にて



▲ コメットメダルの表側



本1970年のASPコメット・メダルは、関勉氏に贈呈されることになりました。このメダルは、非専門家の天文学者でコメットの研究についていちじしい貢献をなした人に対して贈られるものであり、同氏は日本国高知県に住む、クラシックギターの教師であります。

関氏はこの15年の間アマチュア天文学者として知られており、1961 f, 1962 c, 1965 f, 1967 b, 1967 n の発見者であります。特に最近では、彗星の精確な写真位置を求めることに心がけておられます。口径22 cm、焦点距離112 cmのカメラを用いて、写真を撮り、同時に測定し、その位置を求めておられます。その結果は、数々の彗星の精密な位置を与えており、なかには16等級にも及ぶものがあります。その位置測定は非常に信頼性が高く、職業的専門家のものに較べて、決して劣りません。

関氏の業績は日本におけるアマチュア仲間においてのみならず、世界中のアマ・プロを含めた天文学者達に対してのげみとなりました。われわれはここに関氏に心からの“おめでとう”を述べ、今後の御活躍を期待するものであります。(Publ. Astr. Soc. Pacific, 82, 573 より)

本田実氏にアマチュア・ アストロノマーズ・メダル



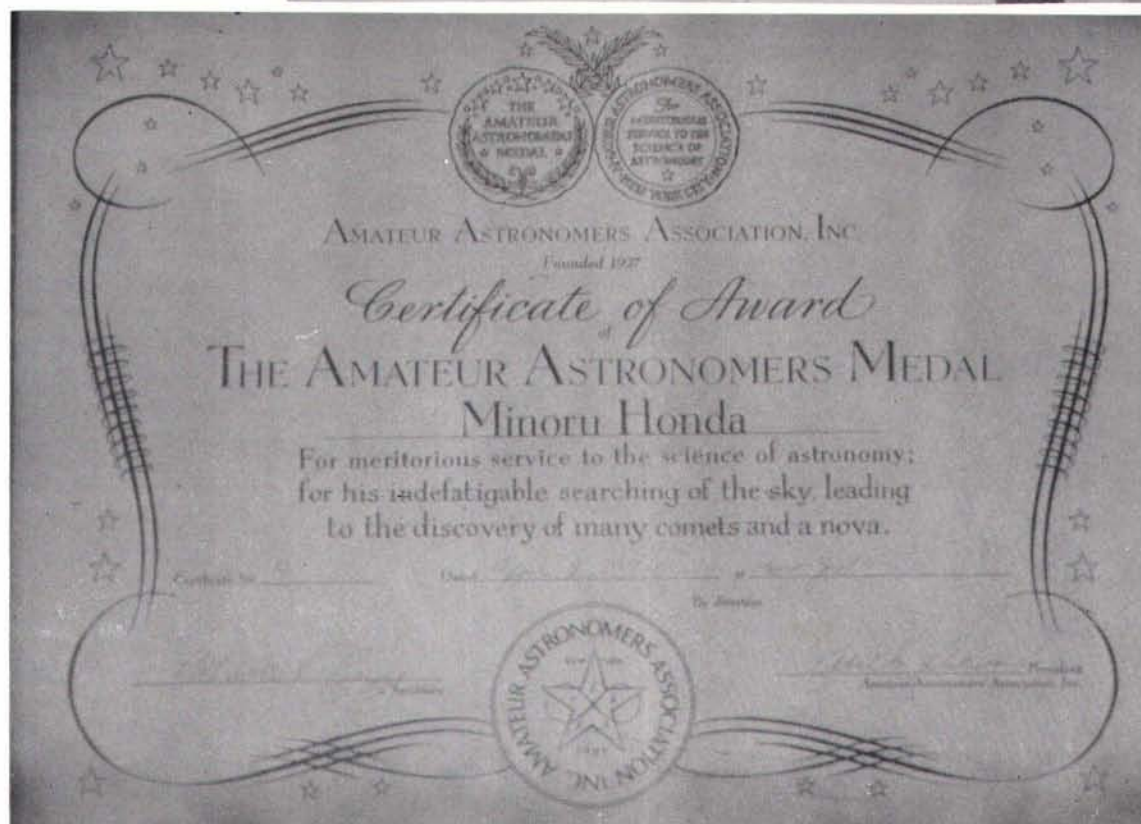
THE
ASTRONOMICAL SOCIETY
OF THE PACIFIC
COMET MEDAL
IS AWARDED TO
TSUTOMU SEKI
FOR OUTSTANDING CONTRIBUTIONS
TO THE STUDY OF
COMETS
1970

▼ ニューヨークにあるアマチュア・アストロノマーズ・アソシエーションから本年4月、本田実氏に対し、9人目のアマチュア・アストロノマーズ・メダルが贈呈されました。村山正男氏から賞と賞状を受ける本田実氏（右側）、東亜天文学会総会会場にて

▲ コメット・メダルの裏側



▼ 本田実氏の業績を
たたえる賞状



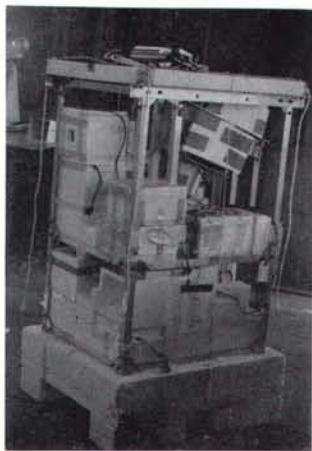
アベ彗星



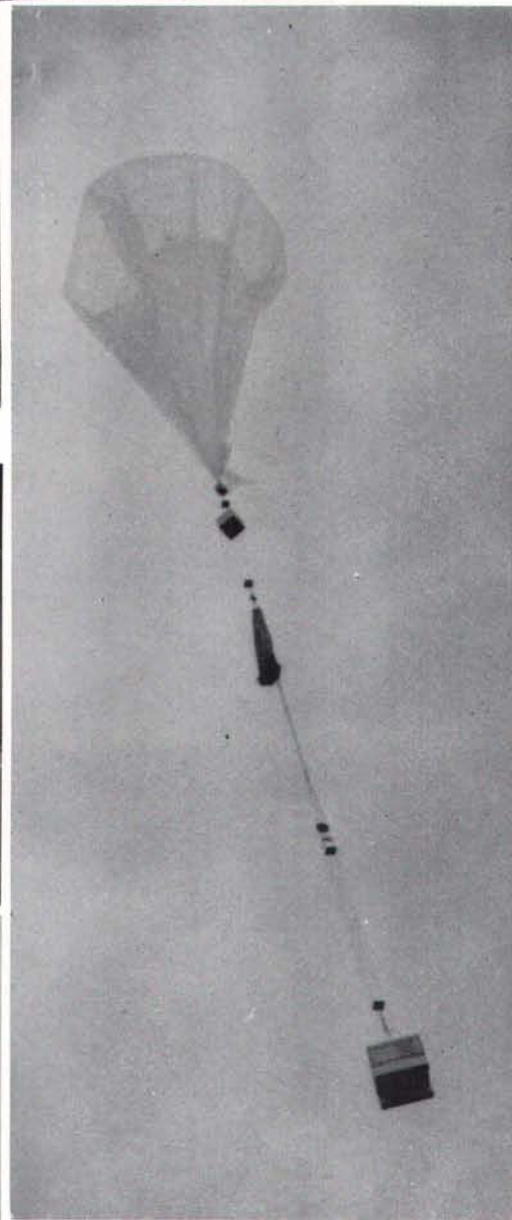
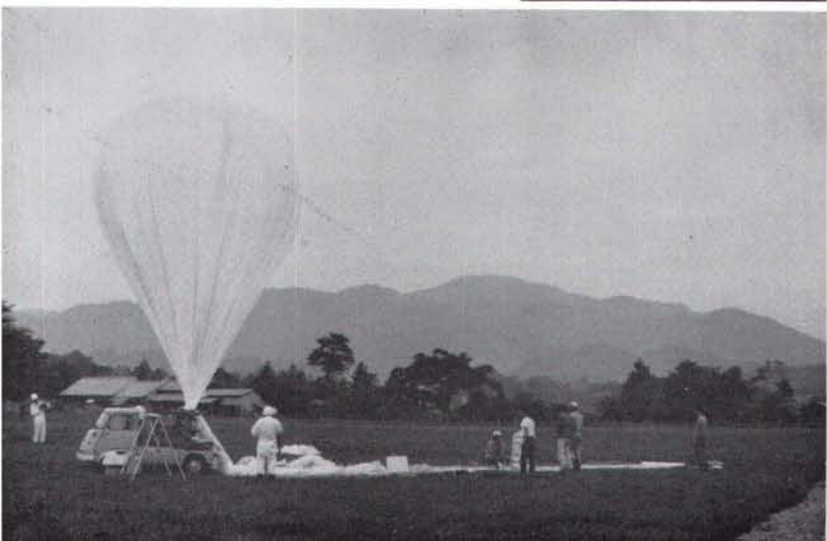
▲ 1970年9月2日 22時53分～57分 (J.S.T.) 堂平観測所にて撮影

気球による太陽 X 線 バーストの観測

搭載され
た X 線観
測器



▼ 気球に水素をつめて放球の準備をしている
(福島県原町市, 東大大気球実験場)



▲ 観測器械を搭載して上昇する気球